

第1学年 生活科学学習指導案

い組 男子 18 名 女子 17 名 計 35 名
指導者 岩 本 博 裕

1 単 元 たのしい がっこう

2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

この期の子どもたちは、校内で初めて見る施設や遊具に対して旺盛な好奇心をもっており、それらを使ったり、遊んだりする中で、いろいろな発見をしたり、友達が増えたりして、学校は楽しいところであると感じ始めている。

そこで、本単元では、安心して学校生活を送ることができるようにするために、学校探検や友達との遊びなどの活動に、子どもたちを主体的・能動的に取り組ませていきたい。また、その活動の中で『もっと、学校のことを知りたいな』『もっと、たくさんの友達をつくりたいな』という思いや願いを達成していく楽しさを味わわせながら、活動への意欲を高めようとするものである。同時に、諸感覚を使って試行錯誤しながら学校探検や友達との遊びなどをするを通して、自分から校内の人やものにかかわる力を培おうとするものである。また、学校で働く人々や様々な施設の役割に気付き、人との正しい接し方や安全な登下校の仕方、学校生活の仕方などを身に付けるものでもある。さらに、これらの活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、学校への愛着を深めるとともに、安心して学校生活を送ることができることもねらっている。

なお、この活動は、『もっと多くの友達をつくりたい』『友達といろいろな遊びをしたい』という思いや願いとして「みんなで遊ぼう」の学習へと発展するものである。

(2) 指導の基本的な立場

学校は、楽しそうな遊具、初めて見る学習用具や器具のある特別教室など、子どもたちにとって興味を引くものが多く、『この部屋はどのようになっているのかな』『遊具でみんなと一緒に遊びたいな』などという思いや願いをもたせることができるものである。さらに、学校生活を支える多くの人々が存在し、『どこでどんな仕事をされているのかな』『一緒に何かしたいな。』などという思いや願いをもたせることができるものである。さらに、学校は公共の施設であり、みんなが気持ちよく生活するためのきまりやマナーがあることを気付くことができる場所である。

このような学校を対象とした活動に、子どもたちが主体的に取り組み、自分と学校とのつながりを実感し、意欲的に学校生活を送ることができるようにするために、学校探検の計画を立てる活動や、友達と協力して取り組む活動、気付いたことや友達のよさなどを互いに伝え合う活動を重点化していきたい。

具体的には、まず、「友達をたくさんつくろう」の活動で、2年生と一緒に遊んだり、友達と一緒に遊具や校庭などで遊んだりすることで、学校生活に対して、安心感をもつことができるようにしていきたい。このような遊びの中から自然に生じた助け合う姿や教え合う姿を価値付けたり、広げたりしながら、協力して活動が進められるようにしたい。次に、「学校探検をしよう①」の活動で、『もっと学校について知りたいな』『もっと、友達と仲良く遊びたいな』という思いや願いをもたせるようにするために、友達と一緒に校庭・校舎内外を探索することを通して、学校のおおまかな様子が分かるようにしたい。また、今後の学習をどのようにしていきたいか話し合う活動で、「学校博士になろう」という学級全体の目標を設定したり、学習の進め方について話し合ったりしたい。さらに、「学校探検をしよう②」の活動では、学校への興味・関心を高めるために、校内で興味があるところを自由に調べて回ることができるようにしたい。そこで、自分の思いや願いを生かした探検コースを設定させ、諸感覚を使った探検ができるように、探検の時間をたっぷりと確保するようにしたい。また、気付いたことを表現する活動では、自分の取組のよさや成長に気付くことができるようにするために、互いに自分が見付けた学校の秘密を教え合ったり、友達が見付けたことを

認め合ったりする活動を設定するようにしたい。そして、学校には安全な施設・設備があることや、世話をしてくれる多くの上級生や先生方がいることにも気付かせるようにしていきたい。その際、国語科の教材「ふたりでおはなし」や「なんていったらいいのかな」の学習を生かして展開したい。

なお、活動の展開においては、子ども一人一人の実態に応じた支援を行い、互いのよさに触れ合う場を設定したり、学習したことを生かせるような教師の働きかけを行い、活動が連続・発展していくようにしていきたい。

このような活動を通して、単元の流れを見通す楽しさ（計画性の向上）、自分の力で調べる楽しさ（責任感の高揚）、友達と一緒に活動したり情報交換したりできる楽しさ（協調性の向上）を実感することができる。そして、活動を振り返ることで、自分への自信（自己肯定感の醸成）や新たな活動への意欲となり、自分の生活を豊かにしていくことにつながる。

(3) 子どもの実態（対象者 い組 35名、数値は延べ人数）

<学校生活への関心・意欲> ○楽しい (35名) ・友達…12名 ・学習…7名 ・遊び…6名 ・兄弟…4名 ・給食…3名 ・多様な体験…3名	
<学校探検への興味・関心> ○学校探検したい 32名 ・もっと学校のことが知りたい…23名 ・秘密が分かる…4名 ・先生と話したい…3名 ・探検が楽しい…2名 ○したくない 3名 ・歩くのが疲れる…3名	
<探検で調べたいこと> ・教室…13名 ・先生…11名 ・友達…4名 ・生き物…2名 ・何でも…5名	
<調べたことを伝えたい人> (複数回答) ・家の人…27名 ・先生…24名 ・友達…22名	
<ほめてもらいたい人> ・家の人…29名 ・先生…25名 ・友達…6名	

本学級の子どもたちは、多くが『友達と楽しく遊んだり、勉強したりしたい』『友達をもっとつくりたい』などの思いや願いをもっており、学校生活を楽しみにしている。しかし、入学して間もなく、友達とのかかわりが少なく学校生活が楽しいと実感できていない姿も見られることから、友達と遊ぶ時間を十分に確保し、友達づくりができるよう配慮する必要がある。また、多くの子どもたちが学校探検に行きたいと考えているが、そうでない子どももいる。そこで、知らなかったことが分かる楽しさや友達と活動する楽しさを味わわせながら活動を展開

する必要がある。探検で調べてみたいことは、教室等の部屋に興味・関心が高いが、入学してから先生方とかかわる中で先生への興味・関心をもつ子も見られる。そこで、繰り返し探検し、対象である学校の施設から、そこで働く先生方へと意識が向くように配慮していく必要がある。さらに、学校生活が短いため、探検で調べたことを伝えたい人、ほめてもらいたい人共に家の人が多い。そこで、探検で調べたことを家庭でも価値付けてもらうなど、家庭の協力を得ながら学習を展開したり、友達同士で称賛したりしながら、自己肯定感が醸成できるようにしていく必要がある。

(4) 指導上の留意点

ア 「友達をたくさんつくろう」の活動では、学校には、多くの友達や上級生がいて、みんなで一緒に遊ぶと楽しいということに気付かせるために（参加・協力）、友達とのかかわりが生まれるようなゲームや2年生との交流などを取り入れたりする。また、国語科「どうぞ よろしく」の学習と関連させながら、仲間づくりができるようにしていきたい。

イ 「学校探検をしよう①」では、様々な校舎内の様子に気付くようにするために（諸感覚）、安全面を確認した上で、学級全員で主な教室を探検させたい。その際、学校内の施設や先生方への興味・関心が高まるような声かけをしたり、気付いた子どもを称賛したりする。また、安心して学校生活を送ることができるようにするために、活動範囲を生活に必要な場所から校庭や校舎外、通学路へと徐々に広げながら探検し、安全に生活する上でも、登下校の仕方、施設や道具の使い方については、具体的に指導していく。さらに、次の活動につなげるために（計画）調べたことを紹介し合い、もっと詳しく知りたいことやどのように調べたらよいのかを話し合わせたい。

ウ 「学校探検をしよう②」では、興味をもった場所を中心に探検させていきたい。その際、諸感覚を使って活動している子どもを称賛し、探検の仕方を広げていきたい。また、次第に人とかかわりが深まっていくようにするために、（交流・参加）、ただ施設を見学するだけでなく、そこにいる人と握手をする、名刺を渡すなどの活動を取り入れ、名前を聞く、インタビューをするな

どの活動を行わせたい。

エ 「学校の秘密、見つけたよ」では、自分の取り組み方のよさに気付かせるようにするために（自助・自分）、これまでの学校探検で見つけてきた秘密を絵や言葉で表現させ、紹介し合ったり、互いに認め合ったりする活動を設定する。また、保護者の方から感想の手紙を書いてもらい、子どもが、これまでの活動に対して達成感や成就感をもてるようにしていきたい。

3 目 標

- (1) 『学校生活を楽しく過ごしたい』という思いや願いを基に、進んで多くの友達や先生と触れ合ったり、学校内を探検したりする活動に意欲的に取り組むことができる。
- (2) 友達と協力したり、分からないことをインタビューしたりしながら探検活動ができるとともに、活動の中で楽しかったことや気付いたことを表現することができる。
- (3) 学校内の様子や人々の役割などに気付き、学校への愛着をもつとともに、安全な登下校や歩行・あいさつなどの適切な習慣・技能を身に付けることができる。また、活動を通して、自分のよさや成長に気付くことができる。

4 指導計画（全15時間）

活動する 楽しさ	活 動 名 (意欲の高まりと気付きの様子)	主 な 学 習 活 動 (時 間)	学習形態・環境構成 教師の具体的な働きかけ
○学校を初めて知る楽しさ ○校庭や遊具で友達と一緒に遊ぶ活動に浸る楽しさ ○友達が増える楽しさ ○2年生と一緒に遊び、プレゼント(アサガオの種)をもらう楽しさ ○校庭や通学路にあるものをいろいろ見付ける楽しさ ○学校内をみんなで探検し、様々な教室や道具などを見付ける楽しさ ○学校の約束を知る楽しさ ○好きな場所を詳しく探検する楽しさ ○インタビュー等をして知らなかったことが分かる楽しさ ○見付けたことをまとめたり、友達に教えたりする楽しさ ○自分自身の成長に気付く楽しさ	・学校ってどんなところだろう。探検したいな。 ・友達を増やしたいな。 ともだちをつくろう (3時間) ・友達と遊ぶことは、楽しいな。 ・2年生とも仲良くなれたよ。 ・学校の中はどうなっているのかな。 学校探検をしよう① (5時間) めざ：学校博士になろう ・安全な登下校の仕方が分かったよ。 ・〇〇室には、道具がいっぱいあったよ。でも、何に使うのかな。 ・もっと詳しく学校のことが知りたいな。 学校探検をしよう② (4時間) ・自分たちで探検に行けたよ。 ・学校の秘密が分かったぞ。 ・分かったことをみんなに教えたいな。 学校の秘密、見つけたよ (3時間) ・学校博士になれたよ。 ・先生方は、いろいろしてくれるんだね。 ・附属小学校大好き。	みんなで校内や校庭を中心に探検する。(2) 2年生の招待で交流学級に行き、2年生との交流を深める。(1) 自分の登下校の様子を紹介し、登下校の安全についてみんなで話し合う。(1) 話し合ったことを基に、実際に学校近くの道路や横断歩道、歩道橋を歩く。(1) 学校探検の仕方を話し合い、みんなで校内の探検に行く。(2) 学校探検で見つけた物や気付いたこと、もっと詳しく調べてみたいことについて話し合う。(1) 詳しく知りたいことを決め、グループで探検に出かける。(3) 探検で、見つけたことを絵や言葉にまとめる。(1) 見つけたことを、紹介し合い、附属小学校のよさについて話し合う <本時> (1/3) お世話になっている方々の存在に気付き、自分であることを考え、表現する。(1) これまでの本単元の活動を振り返る中で、自分のよさやできるようになったことについて紹介する。(1)	・友達同士のかかわり（交流）がもてるように、鬼ごっこや集団遊びを取り入れて遊ばせる。また、日常的に仲間づくりができるようにするために、国語科「どうぞよろしく」と関連させる。 ・2年生との活動は、今後の活動に生かせるように、相手を決めて取り組ませる。 ・登下校中の安全について考えさせるために、警備員や近くの信号等に気付かせる。 ・計画的に学習に参加できるようにするために（計画・参加）、どのような学習のテーマを立て、どのような学習のゴールにするか考えさせる。 ・周りの人へ適切な接し方ができるように（諸感覚）、探検の約束について考えさせる。 ・校内の大まかな様子が分かるように（諸感覚）、全員で探検する。 ・自分たちの力で探検ができるように、教室前に掲示物を設置する。 ・2回目の探検の目的を明確にするために（計画・交流・協力）、どんな調べ方や聞き方をすればよいか話し合い、自分たちで探検できるようにする。 ・人とのつながりがもてるようにこだわりの先生を決めて探検させるようにする。 ・入室の仕方やインタビューの仕方について気付かせるために（交流）、できるだけ子どものこれまでの経験を引き出して指導する。 ・調べたことを友達に伝えられるようにするために国語科「ふたりでおはなし」と関連させる。 ・学校生活を支えている人々つながりを実感させるために、先生方へどんなことができるか考えさせ、その思いを表現させるようにする。 ・自分の取組のよさに気付かせるために（自分・参加）、互いのよさを認め合う活動を設定する。

5 本 時 (13 / 15)

(1) 目 標

『自分で見つけた学校の秘密をみんなに教えたいな』という思いや願いを基に、自ら進んで紹介できるとともに、先生方とのつながりに気付くことができる。

(2) 本時の展開に当たって

調べたことをしっかりと紹介したり、聞いたりさせるために (交流)、国語科「ふたりで おはなし」の学習を想起させながら学習を展開していきたい。また、先生方とのつながりに気付くことができるように (自他)、先生方の仕事が自分たちの学校生活につながっていることを考えさせる。さらに、今後どのようなことができそうか (計画)、過去の経験を基に考えさせるようにしたい。

(3) 準 備

探検時の写真、色画用紙、パス、色鉛筆、のり、移動式黒板など

(4) 展 開

学習過程	主 な 学 習 活 動	時間	教師の具体的な働きかけ																
意欲をもつ	1 これまでの探検活動の中で、様々な人と触れ合ったことを振り返らせ、本時の学習について話し合う。 ・○○先生は、□□教室にいたよ。 ・先生とお話ができたよ。 ・知らなかったことを教えてもらったよ。 	7	○ 友達が見つけた秘密を知りたいという意欲を高めるために（参加）、探検の様子の写真を見せたり、「学校博士になれたかな。」と問いかけたりする。 ○ 紹介したり、聞いたりできるようにするために（交流）、話し方や聞き方のポイントを国語科の学習と絡めて考えさせるようにする。 ○ 一人一人考え方のよさを広げるために、活動中に生まれた疑問や問題は、全体で話し合っていくようにする。 ○ 個への対応																
	先生のことをみんなに知らせよう 2 紹介の仕方を知る。 ・紹介の仕方が分かったぞ。 ・早く聞きたいな。 																		
活動する	3 調べたこと紹介する準備をし、みんなに紹介する。 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>養護の先生</th> <th>給食の先生</th> <th>図書の先生</th> </tr> <tr> <th>仕事</th> <td>病気の子どもへの対応</td> <td>給食づくり 献立を考える</td> <td>本の整理 本の貸し出し</td> </tr> <tr> <th>思い</th> <td>健康で安全に学校生活を送ってほしい。</td> <td>みんなが好き嫌い泣く給食を食べてほしい。</td> <td>たくさん本を読んでほしい。</td> </tr> <tr> <th>感想</th> <td>いつも優しくしてくれて嬉しいな。</td> <td>朝早くから仕事をされているんだな。</td> <td>本を貸しやすくしてくださっているな。</td> </tr> </table>		養護の先生	給食の先生	図書の先生	仕事	病気の子どもへの対応	給食づくり 献立を考える	本の整理 本の貸し出し	思い	健康で安全に学校生活を送ってほしい。	みんなが好き嫌い泣く給食を食べてほしい。	たくさん本を読んでほしい。	感想	いつも優しくしてくれて嬉しいな。	朝早くから仕事をされているんだな。	本を貸しやすくしてくださっているな。	28	(1) 自分なりに進んで聞いている子ども 自分なりに考えている内容やそうしているわけを聞いてその考え方のいいところを称賛する。 (2) 活動にとまどっている子ども 原因を探るとともに、友達とかかわらせたり、教師と共に活動させたりしながら、自分で活動できるようにする。 (3) 活動が早く終わった子ども やり遂げたことを称賛するとともに、他にできることはないか問いかけたり、自分の調べた先生との相違点を考えさせたりする。
		養護の先生	給食の先生	図書の先生															
仕事	病気の子どもへの対応	給食づくり 献立を考える	本の整理 本の貸し出し																
思い	健康で安全に学校生活を送ってほしい。	みんなが好き嫌い泣く給食を食べてほしい。	たくさん本を読んでほしい。																
感想	いつも優しくしてくれて嬉しいな。	朝早くから仕事をされているんだな。	本を貸しやすくしてくださっているな。																
4 先生方の仕事について話し合う。 ・先生の仕事がよく分かったよ。 ・初めて知ったことがたくさんあったよ。 ・あの先生の名前がよく分かったよ。 ↓ ・先生たちの仕事は、大変なんだなあ。 ・僕たちのためにいろいろしてくださっているんだな。 ・だから、楽しく学校生活が送れるんだ。  ・附属小学校大好き。																			
振り返る	5 これまでの活動を振り返り、今後の活動について見通しをもつ。 ・お世話になっている先生方に何かできることはないかな。 ・もっといろいろな先生方の秘密を知りたいな。 ・おうちの人にも教えたいな。	10	○ 自分と先生方とのつながりに気付かせるために（自他）、探検で見つけたこと・発見したことを発表させ、「もし、○○先生がいなかったら」等と問いかけ、自分にとってどんな存在なのか考えさせるようにする。また、他の先生方と比べさせ共通点を気付かせるようにする。 ○ 本時の学習に対する成就感をもたせるために（自分・交流）、互いのよさや附属小学校のよさを発表させ、賞賛する。 ○ これからの活動への意欲を高めるために、（自分・参加・計画）、自分にはできないことはないか問いかけ、これまでの経験をもとに、今後の学習の計画を立てるようにする。																